

# 建設産業に係る今後の政策検討の進め方(案)

人口減少・高齢化が進む中であっても、経済成長と国民生活の安全・安心の基盤である建設産業が生産性を高めながら「現場力」を発揮できるよう、建設産業の将来展望を踏まえつつ、以下の課題について検討。

## 建設産業の発展性・収益性

### <発展分野への展開>

#### 課題①:

長期的には、人口減少・高齢社会に伴う国内経済活動の縮小が想定される中、海外建設市場への展開をはじめ、いかにして建設産業のウイングを広げていくか。

(検討課題例)

- ・海外建設市場への展開
- ・請負以外の分野への展開
- ・PFI・PPPへの展開
- ・プロジェクト・マネジメント能力

### <経営力と生産性の向上>

#### 課題②:

他産業と比較して依然として収益性(営業利益率等)が低い中、いかにして生産性を向上し、企業経営力を高めていくか。

(検討課題例)

- ・川上段階(設計等)も含めた建設生産システム全体での生産性の向上
- ・現場のみならず企業としての生産性の向上
- ・生産性向上のための企業評価
- ・法務・財務・経理能力の向上
- ・生産性向上のための技術者の適正配置

## 建設産業の持続性

### <人材の確保>

#### 課題③:

労働力人口が減少し、他産業との人材獲得競争が激化する中、いかにして有能な技能労働者・技術者を確保し、建設産業の供給力を維持していくか。

(検討課題例)

- ・技術者の適正な配置のあり方等
- ・技能労働者の役割
- ・安定的な雇用環境の条件整備(労働の平準化等)
- ・職歴の評価
- ・技能労働者を有する専門工事業者の評価のあり方
- ・地域の連携・協働による、技能労働者の確保・育成
- ・適正賃金や週休2日など更なる処遇改善

### <地方における役割の維持>

#### 課題④:

後継者難や規模縮小が懸念される地方建設会社が、いかにして災害対応や地域貢献をしながら事業を継続していくか。

(検討課題例)

- ・施工能力を維持しながらの事業承継や譲渡に向けた環境整備(後継者難への対応)
- ・災害時に活躍する建設会社の評価(経審、総合評価)
- ・地方建設会社が安定して事業機会を確保できる仕組み

## 受発注者間の信頼構築

### <建設工事の信頼性の確保>

#### 課題⑤:

建設工事の信頼を揺るがす事案が相次いでいる中、いかにして施工不良等を未然に防止し、発注者、ひいては消費者からの信頼性の高い産業としていくか。

(検討課題例)

- ・建設生産システム全体での品質確保
- ・施工に関するコンプライアンス
- ・工場製品の品質管理
- ・建設生産システム全体の紛争調整
- ・適正な施工に向けたガバナンス

### <発注の改善>

#### 課題⑥:

今後技術職員の不足等が見込まれる中、いかにして効率的かつ持続的な発注制度を構築し、普及させていくか。

(検討課題例)

- ・CMの導入促進
- ・簡素で効率的な発注方式
- ・発注時期等の平準化

### <課題解決に向けた検討>

上記の課題等に応じて、建設業許可制度、請負契約、経審、技術者制度、入札契約制度など、建設業関連制度の基本的な枠組みについて、再検討を行う。 ➡ **新たな検討の場を設置**